

縣ノ理由ト爲サントスレハ彼ノ因幡伯耆ノ如キヲ奈何スルヤ因幡伯耆ノ分離センコトヲ欲スルヤ久シ而テ伯耆ヲ分割セハ因幡ノ經濟ヲ維持スルニ困難ナルノ故ヲ以テ其分立ヲ許サスト云フ獨リ大和ハ國大ニ人多キヲ以テ別ニ一縣ヲ設置セントスルニ至リシナランモ地勢ノ便否上及ヒ現時ノ施政上ヨリ考察スルトキハ決シテ新縣設置ノ必要アルヲ見サルナリ姑ク一步ヲ讓リテ假ニ奈良縣ヲ設置スル者ト爲サンカ元來大和ハ海灣ノ以テ開港場ト爲スニ足ル者ナク物産ノ以テ利源ヲ興スニ足ル者ナク人民ハ攷々汲々トシテ山林田圃ヲ培養シ僅ニ土地ニ生スル米穀木材等ヲ以テ生計ヲ立ツルニ過キサレハ特ニ縣廳ヲ置クモ縣廳ハ爲ス可キノ事業ナキニ苦マンノミ斯ノ如ク論シ去レハ或ハ本官ヲ見テ大和ノ便否盛衰ヲ度外視スル者ト做サンモ本官ハ決シテ然ラス即チ學校事務ノ如キ衛生事務ノ如キハ宜シク獎勵勸誘スヘキ者ナルヲ以テ此等ハ郡衙ヲシテ其事ニ當ラシメ大阪府廳之ヲ監督シテ可ナリト思惟ス曩ニ本官ノ大阪裁判所ニ在勤スルニ當リ大和ノ人民ハ嗽々トシテ裁判所ノ設置ヲ請フノミナラス或ハ裁判所ヲ新築シテ獻納セント云ヒ或ハ金ヲ獻シテ其費用ニ充ント云ヒシモ裁判所ノ位置等ハ政府ノ詮議ニ因テ定マリ人民ノ請願ニ依リ之ヲ進退ス可キニ非サル旨ヲ諭シテ其請求ヲ斥ケ只僅ニ支廳ヲ奈良ニ置クニ止メタリ當時本官ハ謂ラク裁判所ヲ新設スルモ何ノ益カアル然ルニ大和ノ人民カ競テ之ヲ請求スルハ蓋シ私利ヲ博セントスル者ノ煽動ニ因リテ然ルナラント其レ然リ故ニ今日奈良縣ヲ設置セハ必ス之ニ黃線シテ利益ヲ得ントスル者ハ一時満足ノ意ヲ表スルナランモ所謂ル壠ヲ得テ蜀ヲ望ムハ人情ノ常ナレハ彼輩ハ重子テ

人民ヲ煽動シ如何ナル請願ヲ起スニ至ランモ知ル可ラス且一タヒ分縣ヲ許スノ端緒ヲ開カハ西ヨリ東ヨリ紛々トシテ同一ノ請願ヲ爲シ政府ニ於テハ殆ト之カ處置ニ苦マサルヲ得ス其般鑑和歌山縣減租ノ結果ニ在リ豈深ク思ハサル可ケンヤ之ヲ要スルニ奈良縣設置ノ事タル大和ノ爲ニ謀ルモ政府ノ爲ニ謀ルモ決シテ利益ヲ見ル能ハス啻ニ利益ヲ見ル能ハサルノミナラス知事書記官警部長收稅長ヨリ屬官備吏ニ至ルマテ數十百人ノ俸給ハ悉ク國庫ヨリ支出セサル可ラス其損失タル蓋シ鮮少ニ非サルナリ況ンヤ大阪府民ハ曩ニ非常ノ水害ヲ被リ加ルニ連年商況ノ不活潑ナルカ爲メ從來大和ノ地方稅ヲ以テ補助セル七八萬圓ノ治水費ヲ負擔スルニ堪ヘサルヲヤ此ヲ思ヒ彼ヲ思ヘハ政府ニ於テハ已ムヲ得サル者トシテ奈良縣ヲ設置スルナランモ本官ハ已ムヲ得ス之カ反對ニ立チテ本案發布中止ノ建言ヲ爲サントス因テ此ニ一應ノ意見ヲ陳述ス

○四十九番 神田 孝平 本官ハ奈良縣設置ノ理由ニ未タ盡サ、ル者アリト信ス何トナレハ只今内閣委員ノ説明スル所ニ依レハ大和ニ於テ壹萬圓ノ負擔ヲ輕減スルモ之ニ反シテ大阪府ニハ新ニ七八萬圓ノ地方稅ヲ増加ス可キニ因リ彼此相乘除シテ大凡五六萬圓ノ増稅ヲ來セハナリ畢竟大和ノ人民カ紛々トシテ苦情ヲ唱フルハ主トシテ地方稅賦課法ノ平常ヲ得ントスルニ在リ故ニ從來ノ賦課法ヲ改メテ四分六分ト爲シ或ハ七分三分ト爲シ以テ比例ノ適當ヲ得セシメハ必シモ新縣設置ヲ要セスシテ大和ノ人民ハ之ニ甘心シ復タ一人ノ苦情ヲ唱フル無キニ至ラン何ヲ苦ンテ奈良縣ヲ設置セントスルカ本官ハ得テ之ヲ解セサルナリ且ツ今新ニ一縣ヲ設置セハ之ニ屬スル官吏ノ俸給其他種々費用ノ爲

メニ忽チ國庫ノ支出ヲ増加スルハ論ヲ跋タス是レ本官ノ深ク憂慮スル所ナリ論者或ハ言ハン新縣設置ノ爲ニ國庫ノ支出ヲ増加スルハ自然ノ勢ナレトモ之ヲ國庫ニ取リテ之ヲ地方ニ散スレハ國庫ノ損失ハ則チ地方ノ利益ト爲ルニ非スヤト其レ然リ然レトモ僅々奈良一地方ノ爲ニ國庫ノ支出ヲ増加シ而シテ大阪府民ノ負擔ヲ重クスル如キハ決シテ經濟ノ得タル者ト言フ可ラス因テ本官ハ二番ト同感ナリ

○六十一番 樹取 內閣委員ニ問フ大和一國ノ公租人口及ヒ特有物産ニ依リテ得ル所ノ金額ハ幾許ナルヤ

○外一番 水野 六十一番ノ質問ニ答ヘン大和一國ノ人口ハ四十八萬八千貳百九人ニシテ物産ハ只米ト葛アルノミ而シテ租稅ノ金額ハ取調書類ヲ携帶セサルニ依リ此ニ之ヲ明言スル能ハサレトモ今試ニ反別ヲ明示セハ或ハ思ヒ半ニ過キン即チ其反別ハ三萬六千八百六拾五町ナレハ此ヲ以テ推知セラレンコトヲ請フ

○二番 清岡 內閣委員ニ質問セン土木費ノ爲ニ大和ノ人民カ不公平ヲ鳴ラシテ止マサルヲ分縣ノ一理由ト爲セルコトハ已ニ命ヲ聞クヲ得タレトモ其他土地ノ遠隔ナルカ爲メ實際ニ就キテ施政上ニ不便ヲ感スル如キ理由アリテ存スルヤ且大和ヲ一縣ト爲ストキハ將來ニ利益ヲ見ル可キノ心算ナリヤ

○外一番 水野 本官カ前キニ本案ノ理由トシテ特ニ土木費云々ノ一點ヲ舉ケタルハ理由中ノ最モ重ナル一理由ニシテ之ヲ説明セハ其他ハ一々列舉スルヲ要セスト信シタルニ因ル然レトモ只今二番ノ質問アルヲ以テ更ニ一二ノ理由ヲ舉ケテ之ニ答ヘン即チ攝津

ト大和ト地勢人情ノ同カラサルハ姑ク措テ問ハサルモ其人民ノ貧富ニ至リテハ相距ルコト當ニ千里ノミナラス是レ新縣設置ノ一理由ナリ又大阪府ハ管轄廣大ニ過キ往々其施政上ニ不便ヲ感スルコトアリ故ニ之ヲ分割シテ適當ヲ得セシメントス是亦新縣設置ノ一理由ナリ此他大和ノ人民ノ便否上ヨリ論スルモ遠隔ノ地ニ府廳アルト接近ノ處ニ縣廳アルト其出入往復ノ不便ハ言ハスシテ知ル可キノミ要スルニ奈良縣ヲ設置セハ以上ニ縷陳スル如キ利益アリテ毫モ損害ノ之ニ伴フヲ見ス是レ國費ノ多端ナル今日ニ當リ幾分ノ國庫金ヲ支出シテ奈良縣ヲ設置セントスル所以ナリ若シ夫レ將來ニ利益ヲ見ル可キノ心算ナルヤ否ヤノ質問ニ至テハ內閣委員ハ之カ答辯ヲ爲ス能ハサルナリ

○二番 清岡 內閣委員ノ答辯ニ依レハ奈良縣ヲ設置スルニ數理由アリ曰ク地勢人情ノ同シカラサルコト曰ク人民ニ貧富ノ相異アルコト曰ク大阪府ノ管轄區域廣大ニ過クルコト曰ク新縣設置ノ大和ノ人民ニ便利ナルコト曰ク土木費ノ不權衡ヲ正スコト是ナリ而シテ第一地勢人情ノ相異ヲ以テ分縣ノ理由トスルニ足ラサル所以ハ已ニ前言ニ盡シタレハ重テ此ニ贅言セス第二人民ニ貧富ノ相異アルハ獨リ大阪ト大和トニ止マラス現ニ東京府下ニ於テモ每區其貧富ヲ異ニシ朱引内ト朱引外トハ其懸隔ノ最モ甚シキ者アルニ非スヤ此ニ因テ之ヲ觀レハ人民ノ貧富ハ新縣設置ノ理由トスルニ足ラサルナリ第三管轄ノ廣大ニ過クルヲ以テ分縣ノ理由トセハ他ニ之ヨリ甚シキ者アルヲ奈何セン且大和ト大阪トハ其距離甚タ近シト言ヒ難キモ朝ニ出テ夕ニ歸ルヲ得ヘケレハ管轄ノ廣大ナル亦以テ新縣設置ノ理由ト爲スニ足ラサルナリ第四縣廳ヲ接近ノ地ニ置ケハ人民ノ往

復出入ニ便利ナリト是レ或ハ然ラン然レトモ大和ノ人民ハ概テ皆山林田圃ニ衣食シ
 屢々縣廳ニ出入スルノ必要アルニ非サレハ縱令ヒ縣廳ハ近地ニ在ルモ之カ爲ニ直接ニ
 便益ヲ享クル者ハ旅亭割烹店若クハ辨當屋ニ止マリ一般ノ農民ハ適マ以テ官吏ノ干渉
 苛察ニ苦マンノミ何ツ之ヲ以テ置縣ノ一理由ト爲スニ足ランヤ第五治水費ノ不權衡ナ
 ルハ必シモ置縣ヲ要セスシテ他ニ之ヲ救フノ道アラン既ニ四十九番ノ言ヘル如ク地方
 稅賦課ノ比例ヲ改ムルモ稍ヤ其公平ヲ得ルニ庶幾カラシカ之ヲ要スルニ今日日本ノ憂
 患ハ經濟ノ困難ナル一事ナレハ當局者ハ政費ノ節減ヲ以テ急務中ノ一大急務ト爲スニ
 非スヤ此時ニ當リ縱令ヒ僅々タル貳萬圓ト雖トモ無益ナル置縣ノ爲ニ國庫ノ支出ヲ增
 加スルハ國ノ爲メニ取ラサル所ナリ況ヤ現今ノ豫算ハ貳萬圓ニ止ルモ漸次ニ増加シテ
 終ニ三萬圓五萬圓ノ巨額ニ上ランモ知ル可ラサルヲヤ殊ニ明治二十三年ニ至リテ國會
 ヲ開設セハ必スヤ紛々トシテ經濟ノ得失ヲ論ス可ク加ルニ近來ハ各地方ニ鐵道ノ布設
 ヲ見ルニ至リタレハ今ヨリ後ハ漸次ニ府縣ノ數ヲ減少シ以テ政費節減ノ目的ヲ達セン
 コトヲ切望ス

○五十番 三浦安 本官ハ大ニ本案ヲ賛成ス明治九年ニ大和ヲ以テ堺縣ノ管轄ニ屬セシハ其
 當ヲ失ヘル者ナレハ當時本官ハ內務省ニ奉職シテ詳ニ其不可ナル所以ヲ論セシモ既ニ
 發令ノ後ナレハ已ムヲ得ス口ヲ緘シタリ然ルニ其後數年ヲ經テ堺縣ヲ廢シ復タ大和ヲ
 舉テ大阪府ノ管轄ニ屬スルニ至リテハ愈ヨ其失當ヲ重子タル者ト言ハサルヲ得ス故ニ
 今日奈良縣ヲ設置スルハ洵ニ適當ナル處置ニシテ明治九年以來數年間ノ失措ヲ救フニ

足ル者ト言フ可キナリ反對論者ハ國庫支出ノ増加スルヲ以テ本案ヲ批難シ動モスレハ
 之ヲ廢棄ニ付セント論スルモ本官ハ未タ其說ニ感服スル能ハス何トナレハ國庫ノ資幣
 ヲ無益ノ事業ニ投スルハ不可ナレトモ之ヲ有用ノ時ニ支出シテ人民ノ利便ヲ計ルハ政
 府ノ宜ク爲スヘキ所ナレハナリ又漸次ニ府縣ヲ減少ス可シト言フニ至リテハ各自ノ意
 見ニ屬スル者ニシテ他ヨリ之ヲ奈何トモ爲ス能サレトモ本官ノ見ル所ヲ以テスレハ全
 國各地方ニ府縣ノ星羅スル今日ニ際シ大阪府ノ管轄ヲ割キテ大和ニ一縣ヲ新設スルハ
 甚タ適當ヲ得タル者ニシテ必シモ一國大經濟ノ上ヨリ之カ得失利害ヲ論スルヲ要セサ
 ルナリ畢竟本案ノ如キ事理明白ニシテ一點ノ疑義ヲ存セサル者ニ至テハ斷然之ヲ公布
 シテ後ニ本院ノ檢視ニ付セラル、モ可ナラント信ス因テ本官ハ本案ニ賛成ノ意ヲ表シ
 併セテ引續キ第二第三讀會ヲ開カンコトヲ建議ス

○四十八番 尾小 彌太 本官ハ本案ノ可否ヲ決スルニ苦ム蓋シニ番ハ久ク大阪ニ居リ五十番
 ハ和歌山ノ出身ナルヲ以テ共ニ該地ノ事情ヲ明知スルナランモ尙ホ其說ク所ノ模糊ト
 シテ明晰ナラサル者アルハ職トシテ內閣委員ノ說明ニ未タ盡サ、ル所アルニ由ルナラ
 ン內閣委員ハ本案ノ施行ニ至レハ大ニ大和ノ地方稅ヲ減スル如ク說明スレトモ之カ爲
 ニ大阪府民ノ頭上ニ七八萬圓ノ負擔ヲ増加スル者トセハ其之ヲ孰レニ負擔セシメ然ル
 可キヤノ問題ハ須ラク道理上ヨリ判定ヲ下サ、ル可ラス思フニ大阪ノ河川ハ大阪ニ出
 テ大阪ニ流ル、ニ非スシテ其源ハ遠ク山城大和ノ山脈ニ在ルナラン果シテ其源ヲ山城
 大和ニ發シ大阪ニ至リテ汪洋タル大河ヲ成ス者トセハ大阪ノ治水費ハ必シモ獨リ大阪

府民ノ負擔ニ歸セシム可キ道理アルヲ見サルナリ然レトモ論者ハ説ヲ爲シテ言ハシ大
 阪府民ヲシテ治水費ヲ專擧セシムルハ稍ヤ穩當ヲ缺クニ似タレトモ一方ヨリ之ヲ見レ
 ハ大阪府民ハ此水利ニ依リテ水田ヲ灌漑シ且水運ノ便益ヲ得ルカ故ニ得失相償テ餘リ
 有ルニ非サヤト此説一理ナキニ非サレトモ若シ灌漑水運ノ利益ヲ得ル者ヨリ治水費ヲ
 出ストセハ同一大阪府下ニ於テモ水利ニ關係アル地方ト關係ナキ地方ト別異シ結局
 一郡一村毎ニ其經濟ヲ別ツヲ要スルニ至ラン然レモ是レ言フ可クシテ行フ可ラサルハ
 本官ノ言ヲ踈タヌ又地勢人情ノ相異ヲ論スルモ封建時代ノ遺習ヲ存セル數藩數國ヲ一
 縣下ニ合併セシ者ナレハ其人情地勢ニ相異アルハ獨リ大阪府ノミナラス是ノ如ク論シ
 來レハ地勢人情ノ相異ト治水費ノ不權衡トハ以テ奈良縣設置ノ理由ト爲スニ足ラス然
 ラハ則内閣ニ於テ自ラ別ニ萬モ已ムヲ得サル理由ト情實トノ存スル有リテ事ノ此ニ及
 ヒシナラント想像ス請フ幸ニ内閣委員ヨリ詳細ナル説明ヲ與ヘ以テ滿場各官ノ惑ヒヲ
 解カンコトヲ凡ソ一縣ヲ設ケ一府ヲ置クトキハ縣會府會ヲ組織シテ地方稅ノ經濟ヲ議
 シ或ハ師範學校ヲ設置シテ學生ヲ養成セントシ其他地方ノ面目ヲ改メ一般人民ノ意想
 ヲ新ニセントスルハ當然ナリ然ルニ大和ノ人民ハ奈良縣ノ設置ニ依リテ果シテ其一國
 ヲ新文明ニ進ムルコトヲ爲シ能フヤ否ヤ若シ之ヲ爲シ能ハストセンカ依然トシテ大阪
 府ノ管轄ニ屬スルヲ可トス苟クモ爲シ能フトセンカ強ヒテ大阪府ノ管轄ニ屬スルトキ
 ハ終ニ自立自治ノ氣象ヲ挫折スルニ至ラントス今ヤ將ニ地方自治ノ制度ヲ立テントス
 ルニ際シ一國人民ヲシテ獨立自治ノ氣象ヲ挫折セシムルハ決シテ政治家ノ取ラサル所

ナレハ宜ク一縣ヲ設置シテ十分ニ其地方人民ノ獨立心ヲ涵養スヘキナリ是レ廟堂ニ立
 テテ天下ノ政治ヲ左右スル者ノ最モ注目ス可キ所ナリトス萬一ニモ一己ノ識見ヲ以テ
 漫然ニ府縣ヲ分合スル如キ有レハ之カ爲ニ地方ノ經濟ヲ紊シ又人心ヲ失ヒ遂ニ其弊害
 ノ底止スル所ヲ知ル可ラス之ヲ要スルニ本官ハ更ニ内閣委員ノ詳細ナル説明ヲ得タル
 以上ニ非サレハ本案ニ對シテ是非得失ヲ論スルコト能ハサルナリ

○外番一水野番選

前言ノ簡單ニ過キタル爲ニ各官ノ疑惑ヲ招キタルカ如シ畢竟納辯ヲ以テ
 冗長ナル説明ヲ爲サシヨリハ至要ノ理由ノミヲ舉テ其他ハ各官ノ推知ヲ請ハントスルノ

意ナリシモ只今四十八番ノ言アレハ更ニ數分ノ時間ヲ借リテ一言セン抑モ大阪府ノ管
 轄中ニ就キ海ナク河ナク一帯ノ山脉ヨリ成立シ爲ニ道路開修ヲ必要トスルハ只大和ノ
 一國アルノミニシテ他ノ攝津河内和泉ハ悉ク河海ニ瀕シ堤防治水ヲ必要ト爲スノ地形
 ナリ而ルニ大阪府會議員ノ過半數ヲ占ムル者ハ大和ニ在ラスシテ攝河泉ノ三州ニ在リ
 故ニ年々府會ニ於テ道路修繕費ノ議案ハ少數ノ爲ニ消滅シ之ニ反シ治水堤防費ノ議案
 ハ大多數ヲ以テ可決シ大和ノ少數議員ハ他ノ多數議員ノ壓制ヲ被リ常ニ恨ミヲ吞ミ憤
 リヲ抑ヘテ退クノ狀況ナレハ當局者ハ常ニ彼此ノ間ニ立テ調和セシメ以テ公平至當ナ
 ル政治ヲ施サント欲スルモ能ハス是レ大阪府施政上ノ一大困難ナリ然レトモ所謂ル施
 政上ノ困難ハ直接ニ人民ノ休戚ニ關係セサル者トシテ之ヲ不問ニ措クモ同一管下ノ人
 民ニ非常ノ不幸アルノ一點ニ至リテハ決シテ黙々ニ付ス可ラス之ヲ救フノ策ハ如何
 シテ可ナランカ即チ大和ト攝河泉ノ經濟ヲ分離スルニ如クハ莫シ苟モ經濟ヲ分離セン

ト欲スレハ新ニ一縣ヲ設置スルノ外ニ依ル可キノ道ナシ是レ今日奈良縣ヲ設置セント
スル原由ナリ且近日攝津河内ノ地租ヲ輕減シタル結果ニヨリ大和ノ人民カ其餘響ヲ受
クルハ必然ノ勢ナルヲ以テ今日ニ及テ其經濟ヲ分離セサレハ愈ヨ不幸ニ陷ラントスル
ノ虞アリ是亦分縣ノ今日ニ必要ナル一原由ナリ此他政略上ニ涉レルコトハ本官ノ知ル
所ニ非ス眞シヤ之ヲ知ルト雖トモ此議場ニ於テ明言ス可キ限リニ非サレハ本官ハ口ヲ
閉チテ各官ノ推知スルニ一任センノミ

○議長 質義已ニ盡タルヲ以テ第一讀會ヲ終リ五十番ヨリ提出セシ建議ノ決ヲ取ラン即
チ引續キ第二第三讀會ヲ開クニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二十九人

○議長 多數ナルヲ以テ引續キ第二第三讀會ヲ開クニ決シ直チニ第二讀會ヲ開ク

書記官 森山

朗讀 議案ハ前ニ同シ
故ニ此ニ載セス

○四十八番 尾小 内閣委員ノ說明ニ據レハ奈良縣設置ノ理由ハ河海ト道路ノ經濟即チ
大和ト攝河泉ノ經濟ヲ分離スルノ一點ニ在ルカ如クナレトモ本官ノ見ル所ヲ以テスレ
ハ所謂ル經濟分離ノ一點ハ未タ十分ノ理由ト爲スニ足ラサレハ尙ホ此他ニ意味深長ナ
ル理由アリテ存スルナラント推考ス因テ本官ハ内閣委員ノ說明セル理由ヲ理由トシテ
本案ニ賛成ヲ表スルコト能ハサレトモ今日奈良縣ヲ設置スルトキハ多少大和人民ノ獨
立心ヲ助ケ隨テ幾分ノ文明ヲ造リ出スナラント想像ス故ニ此一點ノ茫乎タル希望心ヨ
リ本案ヲ賛成セント欲スルナリ

○四十九番 神田 孝平

只今内閣委員ノ說明中ニ大和ノ人民ハ攝津河内減租ノ餘響ヲ受ケ益々
不幸ニ陷ラン云々ノ言アリ果シテ然ラハ内閣ニ於テハ新ニ大和ヲ分離シ大阪府ノ負擔
ヲ増加シテ可ナリトスルノ考案ナルヤモ知ル可ラス因テ更ニ内閣委員ノ辯明ヲ煩サン

○外番 水野 遼

第一國稅ハ幾許ヲ減シタルヤ第二國稅ノ減シタル爲ニ幾許ノ地方稅ヲ減ス可キヤ
第一番 遼 四十九番ヨリ國稅地方稅ノ輕減額ヲ問ハレタルモ本官ハ其取調書類ヲ携
帶セサルニ依リ即答スル能ハス

○三十五番 眞田 道

前會以來各官ノ議論アリト雖トモ内閣委員カ屢ハ起テ說明セル如ク實
際地勢人情ヲ異ニシ利害得失ヲ同ウセサル以上ハ到底一府ノ管轄ニ屬ス可キ者ニ非ス
又治水費ナル者ハ地方稅中ノ一大費目ナルヲ以テ苟モ其負擔ニ輕重ノ差異ヲ存スルニ
於テハ之ヲ理由トシテ經濟ヲ分離スルモ亦謂ハレ無シトセス然ルニ某議官ハ此等ノ理
由ヲ排駁シ全ク本案ノ反對ニ立チテ漸次ニ府縣ノ數ヲ減ス可シト說ケリ是亦一種ノ理
論ニシテ漫然一笑ニ付ス可ラサル者ナレトモ獨リ此理論ノ時勢人情ニ適當セサルヲ奈
何セン試ニ佛蘭西ノ現況ヲ看ヨ佛蘭西ノ土地面積ハ我日本帝國ノ土地面積ト略ホ同ク
而シテ佛蘭西ノ鐵道瀛車ハ縱横ニ往來シテ運輸交通ニ便スルコト我日本帝國ト同日ノ
論ニ非サルモ尙ホ其全國ヲ分チテ八十州ト爲セルニ非スヤ又試ミニ彼ノ和蘭陀ヲ看ヨ
和蘭陀ノ廣袤ハ我日本ノ四國ト伯仲ノ間ニ在ルノミナラス鐵道ノ便利ニ依リテ一日内
ニ國中ヲ周回シ得ヘキモ仍ホ其全國ヲ分チテ十一州ト爲セルニ非スヤ然ルニ願ミテ我
日本帝國ノ現狀ヲ見レハ運輸交通ノ道ハ彼ノ如ク至便ナラス土地ノ面積ハ必シモ彼ヨ

リ劣ラサルニ拘ラス獨リ之ヲ管轄スル府縣ノ數ニ至リテハ僅ニ四十餘アルノミ是ニ由テ之ヲ觀レハ縱令ヒ著シキ理由ナキモ分縣ヲ計リテ可ナリ況ヤ正當ノ理由アルニ於テヲヤ由テ本案ヲ賛成ス

退席

二十八番 原田 一道

○二番 清岡 本官ハ本案ニ左袒スル能ハス今ヤ議場ノ景況ヲ見ルニ到底本官ニ同意スル者ハ無カル可キモ四十八番及ヒ五十番ノ説ニ對シテ一辯セサルヲ得ス五十番カ曩ニ大和ヲ堺縣ニ屬シ後又之ヲ大阪府ニ合セタルヲ以テ當局者ノ失措ト爲セルハ何ヲ根據トシテ論スルヤ本官ハ毫モ其根據アルヲ見サルナリ又四十八番カ范乎タル一點ノ希望心ヨリ本案ヲ賛成セシハ蓋シ大和ノ人民カ此置縣ニ依リテ始メテ文明ニ進ムヲ得ヘシト臆斷シタルニ由ルナランモ本官ハ縣廳ノ有無ニ由リテ文化ノ或ハ進ミ或ハ進マサル所以ヲ知ル能ハス且縣廳ヲ置クトキハ獨立自治ノ氣象ヲ助クルニ足ルト言フニ至リテハ益々其論理ノ奇恠ナルニ驚カサルヲ得ス何トナレハ獨立ノ精神ヲ貯ヘ自治ノ氣象ニ富メル人民ハ務メテ官吏ノ干涉ヲ斥ケント爲シ官廳ヲ見ルコト恰モ一ノ妨碍物ノ如クスレハナリ今若シ一縣ヲ設置セハ廳下ノ一部ニ小繁華ヲ現ハシ或ハ割烹店ヲ開キ或ハ藝妓ノ數ヲ増シ或ハ劇場ノ設立ヲ見ルニ至ランモ是レ四十八番ノ所謂ル文明ナル者ニ非ル可シ果シテ然ラハ四十八番ノ説モ亦終ニ根據ナキニ歸センノミ之ヲ要スルニ今回奈良縣ヲ設置スルハ地勢人情ノ異ルト治水費ノ不權衡ヲ正ストノ二理由ニ外ナラス此二理由ヲ以テ分縣ノ大理由ト爲ストキハ他日此聲ニ倣フテ陸續置縣ヲ請フ者アルニ至ラ

ン現ニ京都府下ニ於ケル丹波ト山城トノ如キ其地勢人情ノ相異ルヤ決シテ大阪ト大和ノ比ニ非ス故ニ内閣ニ於テモ曾テ宮津ニ一縣ヲ設置シ以テ京都府ノ管轄ヲ離脱セシメント企テタルコト有リ若シ此等ノ地方ヨリ分縣ヲ請フニ至ラハ政府ハ如何ナル口實ヲ以テ辯解ヲ爲サントスルヤ政府ハ政府ノ都合ニ依リテ奈良縣ヲ設置セリ施政上ノ都合ハ人民ノ知ル所ニ非ス汝宜ク口ヲ緘シテ退クヘシト言ハハ已マンノミ苟モ妮々トシテ道理ヲ説キ中心甘服セシメント欲スレハ蘇張ノ辯ヲ借ルモ能ハサルナリ本官ノ意見ハ概略以上ニ陳述スル如クナルヲ以テ已ムヲ得ス本案ニ反對ス

退席

十三番 伊集院兼寛

○議長 二番 議官ハ廢案説ヲ出セルヤ

○二番 清岡 議場ノ景況ヲ見レハ廢案説ヲ提出スルモ到底行ハレサラント信スルヲ以テ

只本案ニ對シテ反對ノ意見ヲ陳フルニ止メントス

退席

二十四番 大迫 貞清

○議長 他ニ發議ナキヲ以テ決ヲ取ラン本案ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三十七人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ引續キ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀 議案ハ前ニ同シ

○議長 發議ナキヨ以テ本案ヲ可決ト認メ此ニ第三讀會ヲ終ル例ニ從ヒ可決ノ旨ヲ上奏セン

○議長 第五百五十七號議案ノ修正報告案ハ本日各官ニ頒布セン而シテ其第二讀會ハ來
ル三十一日例刻ニ開會スヘシ各官之ヲ領シ散會セヨ
午後零時二十五分閉場

司法省文庫
第 5240 號

